

問1 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？

1. 室町時代 2. 奈良時代 3. 平安時代 4. 鎌倉時代

問2 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？

1. 武士 2. 民衆 3. 貴族 4. 公家

問3 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？

1. 栄西 2. 道元 3. 親鸞 4. 日蓮

問4 浄土真宗において、武士以外に強く支持された、当時の生産活動を担う人々を何という？

1. 僧侶 2. 公家 3. 農民 4. 武士

問5 源頼朝の弟として、壇ノ浦の戦いで平氏を打ち破る中心的な役割を果たした人物は誰？

1. 源頼朝 2. 源範頼 3. 源義仲 4. 源義経

問6 鎌倉時代の武士が好んだ、飾らずに自分を律する生活態度のことを何という？

1. 簡素 2. 質素 3. 厳格 4. 勇猛

問7 鎌倉時代において、御恩と奉公を通じた将軍と御家人の結びつきによって成立した政治権力を何という？

1. 室町幕府 2. 鎌倉幕府 3. 明治政府 4. 江戸幕府

問8 鎌倉時代に御家人が負担した、戦いのための動員や役務を何という？

1. 軍役 2. 公事 3. 雑役 4. 番役

問9 承久の乱で朝廷に勝利した後、鎌倉幕府が京都の朝廷を監視するために設置した役所を何という？

1. 京都守護 2. 関東申次 3. 鎮西探題 4. 六波羅探題

問10 鎌倉時代に広まった新しい仏教の一つである時宗を開き、念仏を唱えながら踊るという布教方法をとった僧侶は誰？

1. 親鸞 2. 一遍 3. 栄西 4. 法然

問11 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？

1. ザビエル 2. マテオ・リッチ 3. マルコ・ポーロ 4. イブン・バットウータ

問12 鎌倉時代、執権の北条泰時が制定した法律を何という？

1. 1232 2. 1185 3. 1333 4. 1192

問13 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？

1. 評定衆 2. 執権 3. 守護 4. 地頭

問14 法然の教えを継承し、さらに全国へと広めていった弟子は誰？

1. 空海 2. 親鸞 3. 法然 4. 最澄

問15 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？

1. 貞永式目 2. 建武式目 3. 武家諸法度 4. 公事方御定書

問16 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？

1. 後白河上皇 2. 白河上皇 3. 後鳥羽上皇 4. 後醍醐天皇

答え合わせ・解説

問1	答え 4 鎌倉時代	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を湛えた文学が発展しました。鴨長明の『方丈記』のように、世の移り変わりや自然の厳しさを冷静に見つめる作品が数多く書かれました。
問2	答え 2 民衆	日蓮の教えは、難しい書物を読まなくても「南無妙法蓮華経」と唱えるだけで良いというものでした。この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ民衆に強く支持されました。この支持によって、鎌倉新仏教は急速に広まりました。
問3	答え 1 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問4	答え 3 農民	親鸞の教えは、難しい経典を必要としないため、読み書きが苦手な農民にも広く浸透しました。当時の厳しい生活環境の中で、平等に救われるという教えは、人々の大きな支えとなりました。これにより、各地で門徒と呼ばれる信者の集団が形成され、大きな勢力となりました。
問5	答え 4 源義経	源義経は、一ノ谷の戦いや屋島の戦いなど、数々の戦いで創意工夫を凝らした戦術を用いて平氏を追い詰めました。最終的な決戦となった壇ノ浦の戦いにおいても、巧みな指揮で源氏の勝利を決定づけました。その武勇は伝説化され、日本で最も有名な英雄の一人となりました。
問6	答え 3 厳格	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で厳格な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美德としました。この精神性は、仏教の禅宗の普及とも結びつき、武士社会における倫理規範として定着しました。
問7	答え 2 鎌倉幕府	鎌倉幕府の政治は、将軍が御家人に対し領地を保証し、御家人がそれに応じて軍事的奉公をするという「御恩と奉公」を骨子としています。土地が何よりも重要視された時代であり、この仕組みが全国的な支配体制を支える根幹でした。御成敗式目などの法整備も行われ、武士社会の秩序が保たれました。
問8	答え 1 軍役	軍役は、御家人が「奉公」として果たさなければならない主要な義務です。戦が起きた際に手勢を率いて駆けつけたり、京都や鎌倉の警備に当たったりすることが求められました。これは御恩に対する見返りであり、御家人の家格や領地の広さに応じて課されることが一般的でした。
問9	答え 4 六波羅探題	鎌倉幕府は京都に「六波羅探題」を設置しました。これは、単に京都の治安維持を行うだけでなく、朝廷の監視、さらには西日本の御家人の裁判や統率を担う重要な機関でした。これにより幕府の支配力は西日本にまで大きく広がることとなりました。
問10	答え 2 一遍	一遍は時宗の開祖であり、念仏を唱えることが救済につながると説きました。特に「踊り念仏」というユニークな布教活動を通じ、全国を回って信者を獲得しました。特定の教理を学ぶことよりも、ひたすら念仏を唱えるという平易な教えが特徴です。
問11	答え 3 マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロは父親らと共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。彼は約17年間フビライ・ハンに仕え、中国全土を巡察して貴重な情報を得ました。帰国後に執筆された『東方見聞録』では、東洋の富の凄まじさや、日本の存在について詳細に記しました。
問12	答え 1 1232	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。これにより、幕府による全国的な裁判の公平性が保たれるようになりました。
問13	答え 4 地頭	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。地頭は、荘園や公領において年貢の取り立てや、土地の管理・警察的な役割を担いました。これにより、幕府の権力が全国各地に及ぶようになり、武士が実質的な地方支配の主役となりました。
問14	答え 2 親鸞	親鸞は、法然の弟子として学び、その教えをより徹底させました。特に「悪人正機」という思想を打ち出し、罪深い人間ほど阿弥陀仏の救いが必要であると説きました。彼は師匠の教えを独自の解釈で発展させ、浄土真宗を開いて全国に広めました。
問15	答え 1 貞永式目	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。特に、守護の権限を警察・裁判権に限定する「大犯三箇条」などが規定され、御家人の権利を守る内容が含まれていました。
問16	答え 3 後鳥羽上皇	1221年、後鳥羽上皇は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。しかし、幕府軍の迅速な対応により朝廷側は敗北し、上皇は隠岐へ流されました。